



「高校時代の私を振り返って」

教諭 梅林 怜史

「一月(いちげつ)往(い)ぬる二月(にげつ)逃げる三月(さんげつ)去る」という言葉があるように、1～3月はあっという間に過ぎてしまう。高校時代を振り返ると、特に3年生のこの時期は本当にあっという間だった。

1月、センター試験(現大学入学共通テスト)に失敗し、自分が行きたかった大学への道は閉ざされた。それでも、良い判定の出る国公立大学を見つけて必死に勉強した。2月の下旬、国公立大学の前期試験に挑んだが、得意の数学で失敗した。卒業後も朝から登校し、前期試験の合否を待ちながら後期試験に向けて勉強した。前期試験の結果は、不合格だった。焦りと不安で胸が押しつぶされそうな中、後期試験でも同じ大学を受験した。募集人数は3人で、例年倍率は10倍を超えていた。受験科目は苦手な小論文で、過去問を何度も解いて対策した。結果は合格だった。泣きながら喜んだ記憶がある。

1～3月は、毎年このことを思い出すと同時に「もっと勉強しておけばよかった」などと後悔する。特に「勉強する方法」を勉強しなかったことに後悔している。やみくもに勉強しても結果に反映されにくい。各科目の勉強方法はもちろんだが、継続して勉強する方法や目標の設定方法などを勉強することで、効果的に結果に結びつく。

私は自分の行きたかった大学には行けなかったが、それでよかったと思う。私が通った大学は、社会科教育界や日本史の専門分野で有名な教授が在籍しており、その方々から貴重な講義を受けることができた。何より、受験期に目の前の現実から逃げずに勉強して得られた忍耐力で、専門的で難しい講義でも粘り強く取り組むことができた。自分が置かれた環境の中で、その環境を受け入れ、何を目的にどう頑張るかが大切である。

最後に、勉強は自分の可能性を切り拓くために必要だと思う。勉強することで、自分の進路実現を確実にする以外に、苦手な教科でも粘り強く取り組む忍耐力や課題解決能力など社会に出たときに生き抜く力を高めることができる。皆さんには自分の可能性を自分の手で閉ざさず、切り拓いていける人になってほしい。

日	曜	3月行事予定	昼食補助
1	金	卒業式(午後)	
2	土		
3	日		
4	月		○
5	火		○
6	水	高校入試前日準備(5限)	○
7	木	高校入試 諸会費口座振替日	
8	金	▼	
9	土		
10	日		
11	月	体験学習(5.6限)	○
12	火		○
13	水	1～6限 5分短縮授業	○
14	木		○
15	金		○
16	土		
17	日		
18	月	高校入試合格発表	○
19	火	終業式	
20	水	春分の日	
21	木		
22	金	合格者出校日	
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金	離任式	
30	土		
31	日		

日	曜	4月行事予定	昼食補助
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		
9	火	新任式 始業式 入学式(午後) 身だしなみ指導 HR 写真	○
10	水	校内テスト 1年身だしなみ指導・個人写真 部紹介	○
11	木	新入生オリエンテーション 自転車点検	○
12	金	身体測定・新体力測定 部結成 3年進研記述模試	○
13	土	3年進研記述模試	
14	日		
15	月	3年基礎学力テスト①	○
16	火	自転車点検(予備日) 旧PTA 理事会	○
17	水	東予総体壮行会(放課後)	○
18	木		○
19	金	避難訓練	○
20	土		
21	日		
22	月	3年基礎学力テスト②	○
23	火		○
24	水	漢字テスト①	○
25	木	生徒総会 家庭クラブ総会 交通マナーアップクラブ グループ結団式	○
26	金		○
27	土		
28	日		
29	月	昭和の日	
30	火		○



校内マラソン大会



2月6日に行われた校内マラソン大会。1・2年生が参加し、自己記録更新に向けて伯方分校特設コースを走り抜けました。

本校では男子 3,000m、女子 1,800mの校内コースを周回するマラソン大会を実施しています。生徒たちは、1・2月中の体育の授業で、時間走やペース走の持続的練習に合わせて、タブレットを用いて、走るフォームや呼吸法なども学習しました。そのおかげで、持久力は大きく右肩上がり、最初は体育の授業が憂鬱だった生徒が、少しずつ授業に前向きに取り組んでいく姿勢がみえました。



今回のマラソン大会は、前日の雨によって1日延期という形で行われました。本番当日、体の調子と天候も良く、最高のコンディションで大会を迎えることができました。スタートの合図が鳴るまでとても緊張していましたが、合図が鳴り、走り始めると、楽に走ることができました。この日1位を取るために毎日、1時間の自主練習をしていたので、自信はありました。結果は1位でした。今回のマラソン大会で学んだことは「走る楽しさ」です。時間走やペース走などの練習をすることで、ほぼ毎回の授業の計測で自己ベストを出すことができたのです。来年も自己ベスト更新したいです。

マラソン大会が始まる前は、こけてしまふかもしれない、脚が痛くなるかもしれないと不安と緊張でいっぱいでした。スタートと同時に勢い良く前に出ると決めていて、ピストルが鳴ると我武者羅に先頭に出ました。走っていると、だんだん脚が重くなり息も切れてきて、かなりしんどかったです。しかし、授業で行ったことや中学校での出来事を思い出すと、スタートの時よりもスピードが出てきてゴールに向かって走り切ることができました。また、目標にしていた1位なることを達成できて良かったです。来年も1位になれるように頑張りたいです。



マラソン大会本番では、表彰される6位に入ること8分前半で走ることが私の目標でした。体育の練習も頑張り、測定では、毎回ベストを更新してきました。大会の日は8分21秒で5位でした。目標は達成したのですが、ゴール直前で抜かれて5位になってしまったのが本当に悔しいです。目標を達成できた嬉しい気持ちよりも、悔しい気持ちの方が大きいので、来年に向けて、休みの日には少し走ったりして、体力をつけて頑張りたいと思います。マラソンはとてもしんどいですが、それよりもベストを更新することが、とても嬉しいので来年ももっと頑張りたいです。

持久走では回数を重ねるにつれてタイムが縮まるのがとても楽しかったです。また、走りのフォームや呼吸法はどんなものが自分に合っていて1番走りやすいかなどを探りながら走ることも頑張りました。さらに、この持久走を通して、我慢することを学びました。走っている途中にしんどくなったり、途中で止めたくなったりした時に我慢することで、タイムが更新し自分自身が成長したんだと感じました。



総合順位
結果発表

男子 (3,000m)

- 1位 村上 奏音 (1年1組) 10分48秒
- 2位 福家 良悠 (2年1組) 10分56秒
- 3位 森野 裕介 (1年1組) 10分57秒
- 4位 小西 涼晴 (2年2組) 11分39秒
- 5位 影山 煌友 (2年2組) 11分47秒
- 6位 新谷 莉空 (2年1組) 11分55秒

女子 (1,800m)

- 1位 幸島 夕奈 (1年2組) 7分31秒
- 2位 渡邊 娃奈 (2年2組) 8分04秒
- 3位 児玉 冬花 (1年1組) 8分18秒
- 4位 玉井 梨凧 (2年1組) 8分21秒
- 5位 赤瀬 楓佳 (1年1組) 8分21秒
- 6位 渡邊 心 (1年2組) 8分26秒

1年男女アベック優勝!! 1年生が上位に多く、来年のマラソン大会で更なる記録更新に大きく期待です!



体力が無い私は長距離にとて苦手意識がありました。しかし、自己ベストを更新するなど自分の力がついていると目に見えたので、毎回目標を決めて持久走に挑みました。マラソン大会当日は、9分を切ることを目標にしていたけど、後半、体がもたずスピードが落ちてしまい8分台にいけなかったのがすごく悔しかったです。来年は目標を達成するために体力をつけたり、フォームや呼吸法の良いものを見つけたりしていきたいです。体育の授業や部活動でも頑張っていきたいです。



第74回卒業証書授与式

3月1日(金)、第74回卒業証書授与式が行われ、3年生25人が伯方分校を巣立ちました。在校生はもちろん来賓の方も昨年より多く足を運んでいただき、とても緊張感ある卒業式となりました。卒業生の皆さんのこれからの活躍をお祈りいたします。

